

社会とつながる「ゆうゆうカフェ」を開催 生きがいづくりを目的に

5月8日、「社会とつながるカフェ」が開催されました。毎週水曜日に開催するゆうゆうカフェのうち、第2・第4水曜日は、協力事業所に出向き、利用者の方がお仕事をします。今回は初めて、株式会社宝樹さん、サカキ・シキミの生産を行う落司 毅さんの元で作業を行いました。シキミの虫食いの葉を取り、綺麗な葉っぱを残す作業を行った田之脇 フヂエさんは、「楽しかった。私が1番上手だった」と明るい笑顔で話されました。



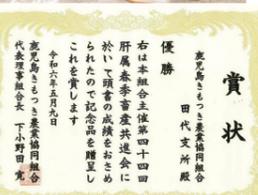
名前と、自分の得意なことが書いてある「名刺」を事業所の方に渡して、仕事をスタートします。

町内から9頭出品 田代地区が団体優勝 肝属地区春季畜産共進会

肝属地区春季畜産共進会が肝属中央家畜市場（鹿屋市）で行われ、本町から9頭の肉用牛が出品されました。月齢ごとに3部門に分かれ、発育状況や体型などをもとに厳正な審査が行われました。田代地区はすべての出品牛が最優秀賞を受賞し、団体優勝に輝きました。



- ◎肝属地区畜産共進会への出品者
- 第1部▶今熊悦郎さん、猪鹿倉秀志さん
 株式会社上鶴畜産さん、
 瀬戸口哲郎さん
 - 第2部▶西元裕樹さん、福永四男さん
 - 第3部▶秋元努さん、宮園清一郎さん



町人権擁護委員の原口さんと今村さんから「風船ゲーム」を通して、相手を思いやる心の大切さを学びました。



みんなで協力して人権の花を咲かせよう 神川小で「人権の花運動」開会式

5月16日に神川小学校で「人権の花運動」の開会式が行われ、ヒマワリの種が贈呈されました。鹿児島地方務局鹿屋支局長高木さんより「みんなで協力して人権の花を育ててほしい」と講話をいただき、児童代表挨拶では6年生福園仁冴さんが「人権を守り、笑顔いっぱいの神川小を作っていきたい」と決意を述べました。

昨年度に引き続き、医療法人静光園 白川病院 医療連携室長である猿渡 進平氏を講師としてお招きしています。



新たなメンバーも加入

令和6年度あ!! toHOME 会議がスタート

多様な主体で「認知症フレンドリーな錦江町」を目指す第20回チームあ!! toHOME 会議が開催されました。新たなメンバーも加わり、今後の活動の方向性を話し合いました。認知症当事者の声を元に、交流事業の開発や趣味活動の開発など様々な取り組みを行っています。チーム員の酒匂 和之さんは、「昨年度の活動から、次のステップに進みたい」と意気込みを話されました。



春の訪れを告げる

スプリングフェスティバル in 花瀬

4月28日に花瀬でんしろう館多目的グラウンドにて「スプリングフェスティバル in 花瀬 2024」が開催されました。会場では、地元特産品のマルシェやお楽しみ抽選会などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは、地元の方々による演奏や舞踊のほか、バルーンツイスター ゆうき&リリーさんのバルーンショーが行われ、子どもたちは大喜び。また、神野美伽さんによる歌謡ショーでは、ヒット曲「男船」のほか、「東京ブギウギ」や「ラッパと娘」などのカバー曲も披露され、会場は大いに盛り上がりました。



司会は、鹿児島を拠点に活動されるタレント、乾き亭げそ太郎さん。子どもたちとのじゃんけん大会を急きょ開催してくださり、子どもたちは大喜びでした。

総合的な学習で「錦江探訪」

錦江中学校3年生 役場のしごと見学

錦江中学校3年生48名が総合的な学習の一環で役場本庁を訪れ、職員から業務内容や本町の課題、将来の展望などについて学びました。介護福祉課職員の説明を聞いた染川メイさんは「錦江町は高齢化が進んでいるけれど、認知症予防にも取り組んでいることを初めて知った。すばらしいと思う。」と感想を述べました。



介護福祉課・産業振興課・議会事務局・政策企画課の話聞いた錦江中の生徒たち。将来、役場で働いてもらえたら嬉しいです。

初めて田車を押す学生が多く、足元がおぼつかない様子。猪鹿倉集落の方々に手厚くサポートしていただきました。



関係人口・交流人口増に向け

鹿児島純心女子短期大学と田車押しや観光PRに向け発表

田代地区の猪鹿倉集落で5月11日、包括的連携協定を結んでいる鹿児島純心女子短期大学と無農薬での田車押し作業が行われました。猪鹿倉集落周辺では、この時期、除草剤等は使用せずに草が生えにくくする「田車押し」を見ることができます。また、午後からは花瀬自然公園内の活性化について話し合い、「行ってみたい観光施設」として発表していただきました。

今回、認知症当事者の方から聴いた声を、これからの活動に活かしていきます。



認知症当事者の声を聴いて考える 交流会の開催

5月19日、チームあ!! toHOMEのチーム員16名と、認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバー11名の交流会が開催されました。認知症当事者の声を直接聴きたいとの要望から開催した交流会では、「買い物はどうされてますか？」と普段の生活について実際の声を聴いたり、作りやすい農作物について教えてもらうなど、様々な会話が繰り広げられていました。

令和6年度春の叙勲 旭日双光章 倉元 幸一郎さんが受賞

鹿児島県弓道連盟名誉会長の倉元幸一郎さんが旭日双光章拝受の報告に来庁されました。長きにわたり、弓道の普及・振興に尽力されたことが高く評価され、今回の受章となりました。89歳になった現在も毎日弓道場へ通われており、「まだまだ若者には負けん。」と力強く話されました。



現在、倉元さんは範士八段。範士になるための選考基準はかなり厳しく、全国に66名のみ。(令和5年度末時点)

お試し日本語教室がスタート

日本語を学べる場作りに向けて

5月10日に町内居住の外国人を対象とした、お試し日本語教室を開催しました。1回目となる今回は、技能実習生及び特定技能外国人の皆さんを中心に24名の参加がありました。「今何時ですか？」や「休みの日は〇〇をします」といった日常会話を中心に練習を行い、参加者の皆さんも積極的に手を挙げ発表されていました。熱心に日本語の勉強に取り組む姿が印象的でした。



お試し日本語教室は、7月までに計4回開催し、参加者の方が参加しやすい曜日や学びたい内容を把握します。

鹿児島きもつき農業協同組合の畜産部長より、最近の畜産情勢について講話をいただきました。



牛・豚・ブロイラー農家集う

5年ぶりの開催 錦江町畜産振興大会

町内の畜産農家の方々が集まり、5年ぶりに開催された畜産振興大会。今年度の畜産振興計画の確認や表彰式などが行われました。子牛最高売上者として特別賞を受賞した宿利原伸吾さんは、「病気をさせずに、たくさん食べてくれる牛を育てるよう気を配っている。今年は昨年よりも高みを目指して、いい牛をセリに出せるように頑張っていきたい。」と意気込みを話されました。

日本語学習支援ボランティア 養成講座の参加者募集

外国人の皆さんに日本語を教えてみませんか？
錦江町で開催する日本語教室で、日本語を教えるボランティアの養成講座を開催いたします。

回数 5回 受講料 無料

対象者 興味のある方ならどなたでも受講可能です。
資格などは必要ありません。

※ただし、3回以上出席できる方とします。

日時 時間：18時～20時※11月17日のみ19時～21時
日程：①9月14日(土) ②9月29日(日)
③10月29日(火) ④11月17日(日)
⑤11月26日(火)

電話▶町政策企画課 0994-22-3032

申込み

QRコード▶



※申込みは7月16日まで

お問合せ：錦江町役場政策企画課

☎0994-22-3032